

米国の関税措置  
（各国との合意、  
日米間の合意に関する米国の主な発信）

令和7年（2025年）7月25日  
外務省

# 米国と各国の貿易に関する合意（概要）

1



英国

(旧)相互関税:10%

相互関税:10%

- 5/8、**米英間の貿易合意**発表。
  - **自動車の関税割当**  
→ **年間10万台を上限に10%**
  - **鉄鋼・アルミニウムの関税割当**  
→ **MFN税率の関税割当**を今後**設定**。
  - **米英経済繁栄協定 (EPD) の締結**に向け、今後交渉を進めることで**一致**。
- 6/16、トランプ大統領は**貿易合意実施のための大統領令**に署名。
- 6/30、**米英間の合意、一部発効**。



インドネシア

(旧)相互関税:32%

書簡:32%

相互関税:19%

- 7/16、トランプ大統領は自身のSNSで**関税交渉の合意**を発表。プラボウォ大統領も合意した旨SNS投稿。
- 7/22、ホワイトハウスは、**相互貿易協定の枠組みに関する共同声明**を発表。
  - **インドネシアは米国産工業品・食品・農産品への関税を99%撤廃**。米国はインドネシアからの輸入品に**一律19%**。
  - **インドネシアは、米国から航空機 (32億ドル)、農産品 (大豆、小麦等 : 45億ドル)、エネルギー産品 (LPG,原油等 : 150億ドル) を購入**。
  - 同協定は**今後数週間で最終合意**し、署名及び発効に向け双方が国内手続を進める予定。



ベトナム

(旧)相互関税:46%

相互関税:20%

- 7/2、トランプ大統領は自身のSNSで**米越間の貿易合意**を発表。ベトナム側は報道のみ (ただし、政府発表に準じる扱い)。
  - **ベトナムからの輸入品に一律20%**
  - **(中国等からの) 積み替え品に40%**
  - **米国からベトナムへの輸出品はゼロ関税**



中国

(旧)相互関税:34%

相互関税:10%  
(5/14~8/12の期間)

※ただし、違法薬物問題を理由に一律20%に引き上げた3/4の措置は継続。

- 5/12、**米中共同声明**発出。米中による**115%の関税相互引き下げ**や、中国による4/2以降の**対米非関税措置の撤廃・一時停止**に合意。  
(注) 4/2発表の相互関税 (34%) のうち**上乗せ分の24%を5/14から90日間一時停止**。
- 6/9-10、閣僚級協議を実施し、**5月の合意内容を履行する実施枠組みについて原則合意**。その後、米中双方は同枠組みを承認。
- 7/22、ベッセント財務長官は**7/28-29に閣僚級協議をスウェーデンで開催**する旨公表。相互関税上乗せ分の一時停止措置の延長を示唆。



フィリピン

(旧)相互関税:17%

書簡:20%

相互関税:19%

- 7/22、トランプ大統領は自身のSNSで**関税交渉の合意**を発表。
  - **フィリピンからの輸入品に一律19%**
  - **米国からフィリピンへの輸出品はゼロ関税**。

トランプ米大統領は、米国時間7月22日（日本時間同23日）、自身のSNS（Truth Social）において、日米間の合意に達した旨を発表したところ、同合意に関する米国政府関係者による主な発信は以下のとおり。

## 1 トランプ大統領によるSNS投稿①（米国東部時間7月22日午後7時12分投稿）

私たちは**日本との大規模なディールを完了**した。おそらく**史上最大のディール**だ。日本は私の指示の下、米国に**\$5500億ドルを投資**し、その**利益の90%が米国に還元**される。このディールは**数十万の雇用を創出**する — これまでに類を見ないものだ。最も重要な点は、**日本が自動車やトラック、コメやその他の特定の農産物、その他の製品を含む貿易を開放**することだ。日本は米国に対し**15%の相互関税**を支払う。これは米国にとって非常に興奮する時であり、特に**日本国との素晴らしい関係を今後も継続できる点において重要**だ。



## 2 トランプ大統領SNS投稿②（米国東部時間7月22日午後8時32分投稿）

たった今、**日本と史上最大の貿易ディール**に署名した。提供し、さらに追加の資金も提供すると約束した！（中略）これは本当に素晴らしい。**過去のディールとは全く異なるもの**だと言える。しかし、我々は国家としてとてもよくやった。我々は強い。**多くの資金が流入しており、私とこの部屋にいる数人以外は、実現するとは思っていなかったほど、関税の効果**が現れた。

## 3 トランプ大統領SNS投稿③（米国東部時間7月23日午前9時18分投稿）

日本は、**史上初めて、自動車、SUV、トラック、そして、農業や、これまで常に完全に「ノー」であったコメさえも含め、その他あらゆるものにまで、米国に対して市場を開放**していることをお忘れなく。（中略）彼らはまた、**数十億ドル相当の軍事装備品その他の装備品の購入に合意**し、5500億ドルの90%を私たちに提供し、さらに追加の資金も提供すると約束した！

#### 4 ベッセント財務長官によるSNS投稿（米国東部時間7月22日午後8時31分投稿）

トランプ大統領のリーダーシップのおかげで、**米国は、私たちの偉大な同盟国の一つである日本との歴史的な合意をまとめた。**石破総理と赤澤大臣が、この双方にとって利益のあるパートナーシップを確保するため、私たちの貿易チームと懸命に取り組まれたことを称賛する。**トランプ大統領の下、新たな黄金時代を迎えるに当たり、この長年の同盟関係を深め、米日協力の新たな章を築く**という私たちのコミットメントを改めて表明できることを嬉しく思う。



#### 5 ベッセント財務長官による発言（米国東部時間7月23日、ブルームバーグインタビュー）

**相互関税と自動車関税**について、**日本が15%という点は特筆すべき点**だと思う。これは従来とは異なる種類の合意だ。なぜなら、**日本は非常に革新的な解決策を提案**し、私たちは何か月も彼らと協議を重ねてきたからだ。（中略）この**革新的な資金調達メカニズム**を提供することに日本側が意欲を示したため、15%の税率を得ることができた。

#### 6 ラトニック商務長官によるSNS投稿（米国東部時間7月22日午後8時1分投稿）

最も偉大な交渉者であるトランプ大統領を代表して、このディールに携わることができたことは光栄であった。**私たちの主要産業を国内に回帰させるための\$5500億ドル**。勝利は終わっていない。これはまだ始まりに過ぎない。

